

# 善徳

七三四一〇〇〇四  
 広島市南区宇品神田四一十一一八  
 善徳寺  
 電話 〇八二一二五一六〇二九

自分が幼い頃は、恐いものがたくさんありました。大きくなるにつれ、少しずつ恐いものは減っていきました。それは、怖いものの正体がわかってきたからだと思えます。単純に、迷信だとわかったもの、親がしつけの為に使っていただけのもの等、知らないが故に想像で恐怖心がふくらんでいたものが、事実を知ること、怖くなくなっていました。

「無明」という言葉があります。我々凡夫のありさまを表した言葉です。無智とも言います。人間のすべての煩惱はここから発生しています。我々は常日頃、迷信に支配されたり、自分の内面から来る妄想に苦しめられたり、自分の判断が絶対と思ひ込み、自力のはからいで、真実を認めずに否定してしまったりの毎日を過ごしています。

又、錯覚の実験などを見せられると、本当に驚きますが、錯覚を起こす脳の働きが、生きる為に必要な知覚を得る脳の働きの一つのようにです。

わかったようで何もわかっていない世界の中で生きている私たちです。如来様は、この迷いの中の私たちの為に、安心できる世界を用意して下さいました。南無阿弥陀仏の名号は、この無明の闇にさす一すじの光です。この光を頼りに毎日を歩んで行きましょう。



写真 富永 万喜子

## 善徳寺行事案内

### 写経教室

三月一七日(土)  
 午後一時半より

### 写真教室

四月二日(月)  
 午後一時半より  
 講師 北恵 好照先生

### 常朝時 毎朝七時より

正信偈勤行と經典解説  
 現在教行信証解説中

### 春季永代経法要

四月二十四日(火) 昼席  
 夜席  
 二十五日(水) 朝席  
 昼席  
 講師 岡本法治先生

## 敬 弔

浄土に参られた方を謹んでお知らせ致します

平成三十年

二月一七日(日) 五日市昭和台

小林律子様 七七歳

二月二六日(日) 仁保南

福田 豊様 六三歳



## 婦 人 会 大 会 法 要

三月十六日(金)

昼席一時より勤行  
 夜席七時半より勤行

講師 福山市加茂町 佐々木真沙美 先生

十五日(木) 午後一時よりおみがきをします。是非ご参加ください。

平成三十年後期回忌法要(案内)

(敬称略)

一周忌(平成二十九年叙)

八月 大野美智子 村岡澄江

宮下ミサヲ 上本昭子

九月 小路毅 柝島秀樹

十月 古田房子 原田サチヨ

村本至徳 小川佐代子

川本ヨシエ

十一月 美濃留子 井上幸雄

村上正人

十二月 佐々木千枝子 岡栄良子

前岡千鶴子 大原美代子

三回忌(平成二十八年叙)

八月 村本博司 川本カツノ

木村君江

九月 福本隆 大岳信枝

十月 橋川万盛 橋川トミエ

長尾武希 住吉トシコ

十一月 土屋章江 上本和江

十二月 高畑イツル 山口美津江

近藤健 川崎克彦

藤岡貞子 垣根百合子

七回忌(平成二十四年叙)

八月 樫本貞登 井上サチコ

竹之下道治

九月 山田ヲラス 今田舞

十月

吉田千代子 小西チエミ  
梶村静男 中本節子

柴崎時彦 松中春子

十一月 山口一義 眞崎昭成

伊木トシエ

十二月 松木正秀 宮瀬卓爾

岡田美代子 沖本夕工

松本キヌ子 松本君子

日野恵美子

十三回忌(平成十八年叙)

八月 貞本英章 紙本千枝子

西敏行

九月 白石恭子

元井博 島山幸子

十月 田中眞也 前崎新平

十一月 原田嘉一 部屋タマヨ

坪井重子 永井望

十二月 元井ミトエ

中本親子 日浦教道

大源繁夫 吉田サザコ

川崎千枝

十七回忌(平成十四年叙)

八月 大戸貞夫 前岡茂

九月 西中直行 立原嘉夫

十月 上野峻児 福田昭子

倉岡子サエ 小松初枝

三上忠則

十一月

菊正雄 上河内寛雄

山下博子 久保田ナヤ子

池田晴三 辻順三

十二月 富山建生 宮下晋

大成滝子 西永為之助

富谷早雄 中屋大蔵

岡本洋子 下川三重子

藤谷松恵

二十五回忌(平成六年叙)

八月 津村孝子 米本スズミ

九月 大丸秀一 栗栖登代子

是政宏和

十月 長本はぎを

十一月 東堂傳治 沖本正男

十二月 吉原

井原保 増谷メグミ

新貝今子 村上マツコ

川本裕子 安森イクエ

新堀俊男 土肥マツエ

三十三回忌(昭和六十一年叙)

八月 多田幸子 鈴木ミカサ

丸本春一

九月 井上卓美 眞藤雅省

十月 上本晴美 梶村タミエ

永易信男 瀬戸カネヨ

宮崎智司

十一月 眞崎義子 福田リミエ

十二月 川崎守人 高橋芳夫

平沢トシコ 尾高ヨシコ

香川静子 大成ユキノ

五十回忌(昭和四十四年叙)

九月 今田清 安藤百合子

十月 松本精之助

十二月

善徳寺墓地案内

納骨壇

半区画 二十万円

一区画 四〇万円

二区画 六〇万円

三区画 八〇万円

元宇品墓地

一区画海側 六〇万円

一区画山側 八〇万円

写真 富永万喜子

